



2020年7月30日

各 位

会 社 名 日華化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 江守 康昌
 (コード番号 4463 東証・名証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員 管理部門長
 澤崎 祥也
 (TEL 0776-24-0213)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年4月28日に未定と公表いたしました2020年12月期通期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	39,000	100	300	0	—
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2019年12月期)	46,191	1,395	1,334	900	57円33銭

(2) 修正の理由

2020年12月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況により合理的な業績予想の算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響につきましては、第1四半期より感染症の影響による市場の環境悪化を背景とし、国内外の各事業分野における受注の減少や後ろ倒しによる減収が発生しておりますが、第2四半期においては顧客の工場稼働率のさらなる低下、美容室の来店客数の大幅な減少などから第2四半期累計業績は大幅な減収、減益となりました。

2020年12月期通期は、依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せないものの、経済活動が再開されており、消費動向は一部において回復の兆しを見せてはいるものの、国内外における当社グループの展開事業分野において今期中は大きく影響が残ることを想定し、連結業績予想を算定いたしました。

なお、上記見通しは、国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲など

外的要因により大きく変動する可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年4月28日発表)	未定	未定	未定
今回修正予想		0円00銭	4円00銭
当期実績	4円00銭		
(ご参考) 前年実績 (2019年12月期)	8円00銭	8円00銭	16円00銭

(2) 修正の理由

2020年12月期の配当予想につきましては、連結業績予想の合理的な算出が困難であったことから未定としておりました。

当社は、各期の業績と将来の成長のために必要な投資や今後の事業展開等を総合的に勘案した上で、安定的な配当を行うことを基本方針としておりますが、2020年12月期の業績予想は上記の通り厳しい見通しであるため、期末配当につきましては無配とし、一株当たり年間配当は4円（中間配当4円）とする予定です。

以上